

# 地域社会への貢献

## CONTENTS

地域支援(コミュニティ活動)	P41
Brilliaのコミュニティづくり	P42
街づくり	P43
教育支援	P45
その他の社会貢献活動	P46

## 地域支援 (コミュニティ活動)

東京建物グループでは、不動産を保有・管理している八重洲・日本橋・京橋などの地域において、街の清掃や地域活性化のためのイベントの運営など、さまざまなコミュニティ活動を通じて地域の価値向上に取り組んでいます。

### クリーン活動の実施

東京建物グループでは、東京建物本社ビルの位置する八重洲・日本橋・京橋地域をはじめとする複数の地域において、街の美化のため、業務開始前の時間などを活用し、清掃活動を定期的に行っています。また、日本橋「橋洗い」イベントには2013年から連続して参加しており、その活動が評価され、主催者である日本橋清掃事業協力会から感謝状をいただきました。今後も地域コミュニティの一員として街の美化に貢献したいと考えています。



日本橋清掃への感謝状をいただきました(2015年7月)

### 日本三大祭り「山王祭」への参加

東京建物本社所在地域の大切な行事であり、天下祭と謳われ、また大阪天神祭や京都祇園祭とともに日本三大祭りにも数えられる「山王祭」に、東京建物グループは積極的に参加して伝統文化の継承に努めています。神輿12基が八重洲・日本橋・京橋地域などを練り歩く下町連合渡御には、総勢100人以上のグループ従業員が参加し、神輿担ぎをはじめ地元町内会の方々と一緒にお祭りを盛り上げました。



山王祭

目次	社長ごあいさつ	特集	安全・安心の取組み	環境への取組み
社会変化への対応	地域社会への貢献	人材資源の活用	管理体制の整備	

## 「中野セントラルパーク」でのにぎわい創出

中野セントラルパークでは、隣接大学や行政と共に一体的に整備した約3haもの緑豊かなオープンスペース（公共空地等）を、シームレスにつながる中野四季の森公園とともに、オフィスワーカー、学生、地元住民や産業の交流の場として活用しています。

街や学生が持つ既存の文化や新たな活力等を取り込みながら、年間を通じてフリーマーケットやワークショップ等の各種イベントを開催するとともに、積極的にコミュニティづくりを行うことで、多様な人々が集い、にぎわいあふれる空間の創出ならびに人、大学、街および企業等が有機的に交じり合い生み出される知識の創造や継続的なエリアの活性化につなげています。

このオープンスペースを効果的に利用してにぎわいをつく

る取組みは、2014年に「グッドデザイン賞地域づくり、コミュニティづくり部門」を受賞しました。



公開空地でのにぎわいと交流

## 「レジーナの森」で復興支援事業「ふくしま舞祭」を開催

東京建物リゾートが福島県天栄村で展開する大規模複合リゾート施設「羽鳥湖高原レジーナの森」では、2013年から東日本大震災からの復興を目指す福島県の地域づくり総合支援事業「ふくしま舞祭」を開催しています。

2015年は、希望と勇気を手のひらに乗せ子供たちが未来に向かって元気に成長することの願いを込めて、「手のひらに太陽を！」をテーマに郡山駅西口広場（郡山市）と羽鳥湖高原レジーナの森（天栄村）の2つの会場で2日間にわたり開催しました。県内外から15団体・約330名の参加者が集まり、元気いっぱいの踊りが披露され、会場には子供たちの元気と笑顔があふれました。



羽鳥湖高原レジーナの森会場にて

## Brilliaのコミュニティづくり

### ハードとソフト両面でコミュニティを仕掛ける「Brillia ときわ台ソライエレジデンス」

2014年11月に竣工した「Brillia ときわ台ソライエレジデンス」は、元々「ときわ台」にあった住民同士のコミュニティを生み出す機能を取り入れ、マンションの居住者がコミュニティをつくりやすくなる「仕組み」をハード・ソフトの両面から盛り込みました。

ハード面では建物群の中心にプライベートガーデンとコミュニティテラスを配置。屋内に設けたライブラリーやパーティールームとも一体的に利用でき、住民が集まってイベントを行いやすくなりました。屋上にはスカイガーデン、エントランスにはフラワーガーデンを設け、植栽管理を通じた交流を促します。



ガーデン植え替え

目次	社長ごあいさつ	特集	安全・安心の取組み	環境への取組み
社会変化への対応	<b>地域社会への貢献</b>	人材資源の活用	管理体制の整備	

ソフト面では、入居開始後1年間のコミュニティ立ち上げ時期に、イベントや交流会を提案し、運営のお手伝いをします。クリスマスイベントや子育て交流会など、さまざまな催しが開かれ、コミュニティ形成に貢献しました。



スプリングコンサート&ミニパーティー

## 管理組合へのイベント提案を通じたコミュニティづくり

良好なコミュニティはマンションの維持管理に良い影響を及ぼし、資産価値の向上にもつながります。東京建物グループは、マンションの管理組合に対してコミュニティ醸成のためのイベント開催を提案し、運営のお手伝いをしています。入居前の交流イベントから、入居後の季節に応じたコミュニティイベント、植栽づくり、クラブ活動の運営補助に至るまで管理組合と協力して行っています。

### 提案・開催したイベントの例

- ・菜園教室 (Brillia 狛江 Farm & Garden)
- ・七夕祭り・花火大会 (Brillia 成増シーズンテラス)
- ・夏休み宿題教室 (湘南袖ヶ浜レジデンス)
- ・クリスマスイベント (Brillia urbrio 戸塚)



菜園教室



七夕祭り・花火大会



夏休み宿題教室



クリスマスイベント

## 街づくり

### 「豊島区旧庁舎跡地活用事業」における取組み

東京建物は、株式会社サンケイビル、鹿島建設株式会社と共同で東京都豊島区主催の「豊島区旧庁舎跡地活用事業」の優先交渉権者に選定され、豊島区との間で基本協定を締結しました。本件は、2015年5月の豊島区新庁舎移転に伴い、旧庁舎跡地（公会堂の敷地を含む）を新たなにぎわい拠点として整備するもので、豊島区新庁舎と超高層マンションが一体となった「区新庁舎一体再開発プロジェクト（新庁舎およびBrillia Tower 池袋の一体再開発）」にも参画した東京建物が、旧庁舎跡地も手掛けることとなります。

この計画では、旧庁舎エリアに「8つの劇場」を含む国際的な“文化にぎわい拠点”を生み出すもので、豊島区が進める「国際アート・カルチャー都市」への戦略に沿ったものです。区が所有しプロユースから区民利用まで多様なニーズに応える新ホールの整備に加え、大規模オフィスを整備することにより、池袋駅周辺の新たなにぎわいを創出し、池袋の副都心機能を高めることで、企業・人の新たな集積を創り出します。2020年のグランドオープンを目指します。



完成イメージ

目次	社長ごあいさつ	特集	安全・安心の取組み	環境への取組み
社会変化への対応	地域社会への貢献	人材資源の活用	管理体制の整備	

## 「東京駅前八重洲一丁目東地区市街地再開発事業」における取組み

東京建物は、東京駅前八重洲一丁目東地区市街地再開発準備組合の一員として、他の権利者の方々と共に「東京駅前八重洲一丁目東地区市街地再開発事業」を推進しています。本事業は、東京圏の国家戦略特別区域の特定事業にも指定され、国際都市東京の陸の玄関口として、八重洲エリアのみならず東京全体のさらなるにぎわい創出と国際競争力の向上に貢献することが期待されています。

東京駅八重洲口駅前は、江戸時代から商業・文化の中心地としてにぎわい、現在でも日本橋や銀座にも隣接し商業・伝統・文化の集積地であるとともに、東京駅は国際空港や地方都市を結ぶ大規模ターミナル駅となっています。

計画地には、大規模バスターミナルや回遊性の高い歩行者ネットワークの整備をすることで交通結節機能のさらなる強化を図るとともに、国際交流機能やビジネスの国際的中枢機能、地域の業務継続（BCP）機能と高い防災対応力を兼ね備えた延床面積約24万m<sup>2</sup>の大規模複合ビルを整備することにより、国際都市東京の競争力の向上に貢献します。



完成イメージ

## 駅前複合再開発「Brillia Towers 目黒」の取組み

東京建物は、目黒駅前地区市街地再開発組合の一員として、東京都の「先行まちづくりプロジェクト」に指定されている「目黒駅前地区第一種市街地再開発事業」を推進し、JR山手線目黒駅の駅前約2.3haを再開発しています。

都バス営業所の跡地およびその隣接地を一体で開発するこのプロジェクトは、広い敷地に住宅2棟とオフィス1棟、低層には商業施設、周囲に緑地を整備することで、駅前のにぎわいと緑豊かで潤いのある環境を両立させます。緑地は「森の広場」と名付け、緩やかな起伏にあわせたウッドテラスと芝生スペースで緑とふれあえる空間をつくります。また、商業施設には「文化の広場」と名付けた駅前広場を併設し、店舗を連続的に配置することでにぎわいを創出します。

このプロジェクトにおいて、東京建物は「Brillia Towers 目黒」の企画・開発を全面的に支援し、一般財団法人首都圏不燃建築公社と共に分譲部分の販売の役割を担っており、2017年12月の竣工を目指して、事業を推進しています。



「Brillia Towers 目黒」全景完成イメージ

## 教育支援

### 「東京スクエアガーデン」でエコな街づくりを学び考える「エコまち塾」を開催

東京建物が保有・管理する東京スクエアガーデンの6階には、「京橋環境ステーション」という都市の低炭素化をすすめるための拠点施設があります。

この京橋環境ステーションで「エコまち塾」という無料で受講できる連続セミナーが開催されています。市民や企業などさまざまな立場の人がエコなまちづくりを学び考える塾として、塾長に早稲田大学特命教授 伊藤滋先生を迎え、他にも建築や都市開発、環境、経済などさまざまな分野の専門家を招き、1期1年間にわたり講演やパネルディスカッションを行っています。2014年度よりスタートし、2015年度も塾生約70名と各回ごとに参加する一般の受講者とともに6回のセッションとまとめのシンポジウムを開催しました。東京建物はこの塾の主催団体である一般社団法人エコまちフォーラムの法人会員として企画運営を行っています。

[エコまち塾について詳しくはこちら](http://ecomachi-forum.or.jp/ecomachi.html)

<http://ecomachi-forum.or.jp/ecomachi.html>

#### ●実施したセッションの概要

セッション1 (2015/5/28)	テーマ	エコまちづくりと社会の意思決定
	講師	江守正多（独立行政法人国立環境研究所 気象変動リスク評価研究室長） 枝廣淳子（東京都市大学 教授）
	モデレーター	村上公哉（芝浦工業大学 教授）
セッション2 (2015/6/29)	テーマ	エコまちづくりと資金循環
	講師	末吉竹二郎（国連環境計画 金融イニシアチブ 特別顧問） 別所哲也（俳優）
	モデレーター	高口洋人（早稲田大学 教授）
セッション3 (2015/7/17)	テーマ	エコまちづくりと地産地消エネルギー
	講師	佐土原 聡（横浜国立大学 教授） 信時正人（横浜市温暖化対策統括本部 環境未来都市推進担当理事）
	モデレーター	小澤一郎（公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンター 理事長*）
セッション4 (2015/9/28)	テーマ	エコまちづくりと市民行動
	講師	中上英俊（株式会社住環境計画研究所 代表取締役会長） 杉浦淳吉（慶應義塾大学 教授）
	モデレーター	高口洋人（早稲田大学 教授）
セッション5 (2015/10/16)	テーマ	エコまちづくりと新しい建築
	講師	川瀬貴晴（千葉大学 教授） 亀井忠夫（株式会社日建設設計 代表取締役社長）
	モデレーター	村上公哉（芝浦工業大学 教授）
セッション6 (2015/11/12)	テーマ	エコまちづくりとまちづくりの組織
	講師	小林 光（慶應義塾大学 特命教授 （元環境事務次官）） 森 雅志（富山市長）
	モデレーター	小澤一郎（※同上）
シンポジウム (2016/2/5)	テーマ	2030年以降の東京市街地の未来像
	講師	伊藤 滋（早稲田大学 特命教授） 尾島俊雄（早稲田大学 名誉教授）
	モデレーター	小澤一郎（※同上）

#### 塾長からのメッセージ

東京建物とエコまちフォーラムの幹部の方々が私のところへいらして、この塾の塾長になってほしいというお話をいただいたのが3年ほど前です。企業や若い先生方が熱意を持ってこのようなことに取り組まれていることを知りとても感銘を受けたのを覚えています。その熱意に応えられるよう講師の先生方にはそれぞれの領域の第一人者を推薦しました。そしてその先生方がまた違う領域の第一人者をお誘いいただくというように輪が広がり、とても質の高い塾をつくることができました。

これからのまちづくりには多くの領域から多くの叡智を集めることが大切です。

エコまち塾とともに学び仲間となった方々が一緒になって、地球温暖化などの困難な問題の解決に果敢にチャレンジすることを願っています。



エコまち塾 塾長  
早稲田大学特命教授  
伊藤 滋 氏

目次	社長ごあいさつ	特集	安全・安心の取組み	環境への取組み
社会変化への対応	地域社会への貢献	人材資源の活用	管理体制の整備	

## その他の社会貢献活動

### 障がい者スポーツの支援

東京建物は、社会貢献活動の一環として、2015年8月から公益社団法人日本障がい者スポーツ協会 (JPSA) のオフィシャルパートナーを務めています。

障がい者スポーツの理念である「活力ある共生社会の創造」実現の一助となるべく、障がい者スポーツの普及啓発活動などを通じて、障がい者スポーツを積極的に応援していきます。



©エックスワン



日本障がい者スポーツ協会オフィシャルパートナー